

南薩地域感染症危機管理情報ネットワーク (NISE)

2025 第47週（令和7年11月17日～令和7年11月23日）

【お問合せ先】 〒897-0001 鹿児島県南さつま市加世田村原二丁目 1-1 南薩地域振興局保健福祉環境部（加世田保健所）
TEL (0993) 53-2316 / FAX (0993) 53-4519 / E-mail minami-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

★ NISE（ナイス）: Nansatsu Infectious Diseases Surveillance of Epidemiology

全国的にインフルエンザの感染者数が増加傾向にあります。南薩地域内ではわずかにですがCOVID-19の感染者数も増加しています。マスク着用，窓開け換気，こまめな手指消毒を徹底しましょう。また，体調不良時には可能な限り外出を控え，無理せず自宅療養を行いましょう。

1 定点報告疾患の発生状況

疾患名	警報		注意報 基準値	対象	42週	43週	44週	45週	46週	47週
	開始基準値	終息基準値								
急性呼吸器感染症(ARI)	—	—	—	加世田	39.50	38.50	45.00	36.50	54.00	49.00
				指宿	35.00	21.50	26.00	47.50	43.50	36.50
				県	48.88	55.58	65.30	63.68	72.21	—
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	加世田	1.00	2.00	—	0.50	1.00	5.50
				指宿	0.50	—	0.50	1.50	1.00	2.50
				県	1.32	2.72	3.18	4.02	8.86	15.07
COVID-19	—	—	—	加世田	3.00	1.00	1.50	0.50	1.00	2.00
				指宿	2.00	1.00	1.00	—	0.50	2.50
				県	2.72	2.18	1.56	1.19	1.02	1.00
RSウイルス感染症	—	—	—	加世田	1.00	4.00	1.00	1.00	2.00	3.00
				指宿	—	2.00	—	—	—	—
				県	1.84	1.90	2.29	2.03	1.71	1.52
咽頭結膜熱	3.00	1.00	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.52	0.58	0.58	0.45	0.74	0.94
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	—	加世田	—	1.00	2.00	—	—	1.00
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	1.87	2.26	2.35	2.77	2.58	2.87
感染性胃腸炎	20.00	12.00	—	加世田	5.00	6.00	3.00	5.00	3.00	3.00
				指宿	10.00	13.00	5.00	5.00	4.00	5.00
				県	3.52	4.32	3.52	3.52	4.65	4.29
水痘	2.00	1.00	1.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.03	0.10	0.06	0.13	0.13	0.10
手足口病	5.00	2.00	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	1.00	—	1.00	1.00	—
				県	0.03	0.39	0.19	0.16	0.10	0.13
伝染性紅斑	2.00	1.00	—	加世田	—	1.00	1.00	—	—	—
				指宿	7.00	3.00	2.00	—	4.00	—
				県	3.58	2.16	3.03	2.87	2.42	2.26
突発性発しん	—	—	—	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	1.00	—	—	1.00	—
				県	0.29	0.26	0.26	0.19	0.39	0.29
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	—	加世田	—	—	—	—	1.00	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	0.06	0.13	0.13	0.10	0.10	—
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	加世田	—	—	—	—	—	—
				指宿	—	—	—	—	—	—
				県	—	0.03	0.03	0.10	—	0.03

※鹿児島県のARI報告数は来週報以降に反映されます。また，データは後日訂正されることがあります。

警報 流行発生警報の基準値を超えた疾患

注意報 流行発生注意報の基準値を超えた疾患

◎警報発令中

○注意報発令中

加世田保健所

(なし)

(なし)

指宿保健所

(なし)

(なし)

2 全数報告疾患の発生状況（管内全ての医療機関から届出のあった一～五類感染症）

第47週 (11月17日～11月23日)	劇症型溶血性レンサ球菌感染症：1件（加世田） 腸管出血性大腸菌感染症：1件（指宿）
-------------------------	--

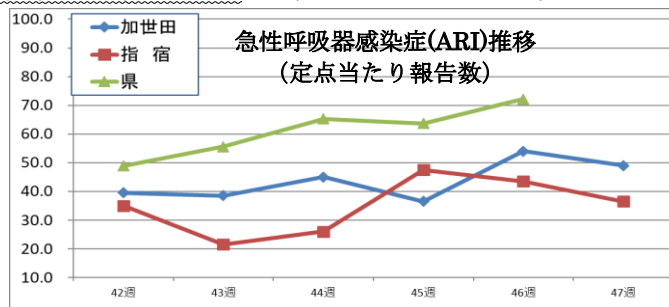
3 南薩地域で注目すべき感染症

※人数は定点医からの報告数です。全体の患者報告数ではありませんので、注意してください。

急性呼吸器感染症（ARI）

第47週の報告数は、加世田保健所管内で98人（定点当たり49.00）でした。
指宿保健所管内では、73人（定点当たり36.50）でした。

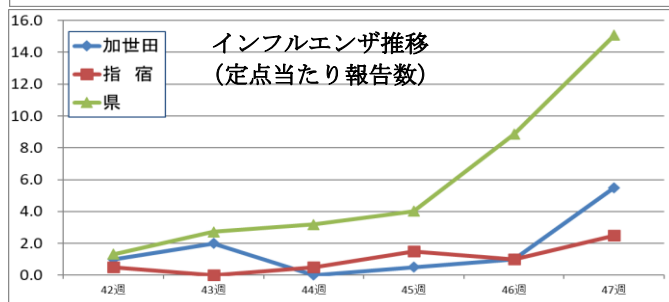
南薩地域内での年齢別報告数は、5～9歳（58人）、1～4歳（43人）、10～14歳（36人）の順に多く報告されています。



インフルエンザ

第47週の報告数は、加世田保健所管内で11人（定点当たり5.50）でした。
指宿保健所管内では、5人（定点当たり2.50）でした。

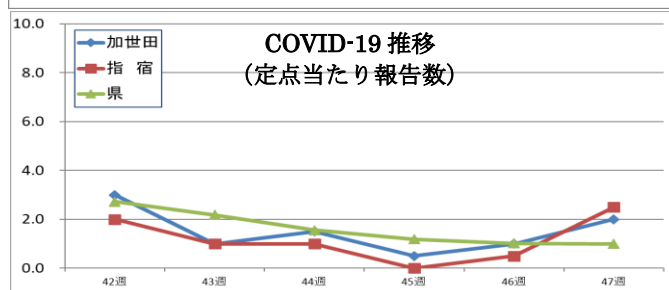
県全体では、859人（定点当たり15.07）であり、増加傾向を認めます。



COVID-19

第47週の報告数は、加世田保健所管内で4人（定点当たり2.00）でした。
指宿保健所管内では、5人（定点当たり2.50）でした。

県全体では、57人（定点当たり1.00）でした。



今週の話

12月1日は「世界エイズデー」です

世界エイズデー（World AIDS Day：12月1日）は、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO（世界保健機関）が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。



“レッドリボン（赤いリボン）”は、世界エイズデーキャンペーンをはじめ、HIVとエイズに関する運動の世界的なシンボルです。
この“レッドリボン”がエイズのために使われ始めたのは、アメリカでエイズが社会的な問題となってきた1980年代の終わりごろでした。このころ、演劇や音楽などで活動するニューヨークのアーティスト達にもエイズがひろがり、エイズに倒れて死亡するアーティスト達が増えていきました。そうした仲間達に対する追悼の気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すため、“赤いリボン”をシンボルにした運動が始まりました。この運動は、その考えに共感した人々によって国境を越えた世界的な運動として発展し、UNAIDS（国連合同エイズ計画）のシンボルマークにも採用されています。

レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージです。このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなで考えましょう。



詳細については、厚労省 HP をご参照ください。